

令和6年度 大田区立羽田小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

児童数268、学級数11、教員数30名。今年度より昭和42年度を越える地域に密着した学校である。今年度はよりコミュニティ・スクールとなり、地域の若者や伝統的行事への参加をはじめ、多摩川沿いの自然環境の調査など、学校の特色は、自然と文化の活用にある。羽田空港に隣接する立地から、総合的な学習の時間を用いたバリエーション豊かな授業を実施している。空港と日本各地との連絡便により、学校教育に生かされている。また、東京都大井町高等学校と姉妹校として、近隣の幼稚園や保育園、食肉市場の方々と交流を通じて、都の大規模団地で積極的な学習に取り組んでいる。このように、本校は地域と連携をおおむねの実践に取り組み、人権教育推進に力を入れている学校である。

また、学力向上においては、教師指導要綱を参考に、日頃の学習の成果や学習態度測定などの結果を基に、全教員が力を合わせて指導に当たっている。漢字検定では全ての児童が合格するまで指導し、学力効果測定の結果にもその成果が見られるよう取り組んでいる。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	取組結果	取組時期	目標に対する成果指標
生に予測可能な力を育成します	STEAM教育等の教科横断的な学びや科学教育の推進、課題解決や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを通して、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	保護者アンケートの「教員は、子どもに考えさせたり表現させたりする授業を積極的にしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測・課題解決の能力を育成する。	情報技術と適切に活用した授業の実施を通して、情報活用力の育成を図っている。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
すお世間	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるために、我が国や海外の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。	外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	自尊感情アンケートの「自分には良いところがある」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した児童の割合。
	目標とつづ	我が国や海外の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。	現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する活動を実施している。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	
うが	国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を創出していく態度を形成します。	羽田空港や地域の祭りなど、羽田の地域特色を生かした取組を行っている。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	大田区漢字検定に1回で合格した児童の割合。
を	生涯学習施設など、地域の様々な施設を活用し、生涯学習の機会を創出している。	生涯学習施設に応じた指導や応じた学習など、各種施設の活用を通じて、すべての子に様々な学習の機会を創出している。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
育	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	学習意欲に応じた指導や応じた学習など、各種施設の活用を通じて、すべての子に様々な学習の機会を創出している。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	自己申告書の「4. 能力開発（OJT、研究・研修、自己啓発）の今年度の目標に対して、自己評価が「目上」となった教員の割合。
成	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、幼児期の連携や小中一貫の視座に立った教育を行っている。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
市	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと、学校の組織的な強みを生かした学びの充実を図っている。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	いじめアンケートの「項目1」学校は減っている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した児童の割合。
し	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	教職員がそれぞれ得意な専門性を生かしたり、地域の特色を生かした取組を行っている。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
た一個	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	教職員の業務適応に取り組め、児童・生徒に豊かな学びを創出する機会を確保する、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	いじめアンケートの「項目1」学校は減っている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した児童の割合。
の目	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導員等教員との連携等を行っている。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
目	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための組織的な対応を実施している。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	いじめアンケートの「項目1」学校は減っている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した児童の割合。
と	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意識した指導や支援を行っている。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
確	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校や家庭での学習に、タブレットを活用していますか」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した児童の割合。
力	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえた学習環境を整備している。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
と	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全安心を向上させるための教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
安	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	学習者用タブレット端末や学校図書館を活用した指導に取り組んでいる。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
全	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	避難訓練や安全指導日などを通して、危険な災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
柔	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	地域コミュニティの統とつづの学校づくりを旨とし、地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
教	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
育	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
環	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
境	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
な	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
学	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
校	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
に	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
校	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
に	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
校	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
に	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
校	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
に	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
校	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
に	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
校	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
に	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
校	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
に	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
校	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
に	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
校	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
に	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
校	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
に	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
校	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	児童アンケート「学校は地域の力を子どもたちの教育活動に生かしている」の項目に、「そう思う」「だいたい思う」と回答した保護者の割合。
に	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。 4.全教員が行った。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が回答した。 1.60%未満であった。	4 80 3 70 3 80 2 70 1 70	
校	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	児童・生徒が豊かな人生を歩んでいく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、確かな体を育成します。また、幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	1.「おおねであつた」と全教員が回答した。 3.80%以上が回答した。 2.60%以上が		

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。